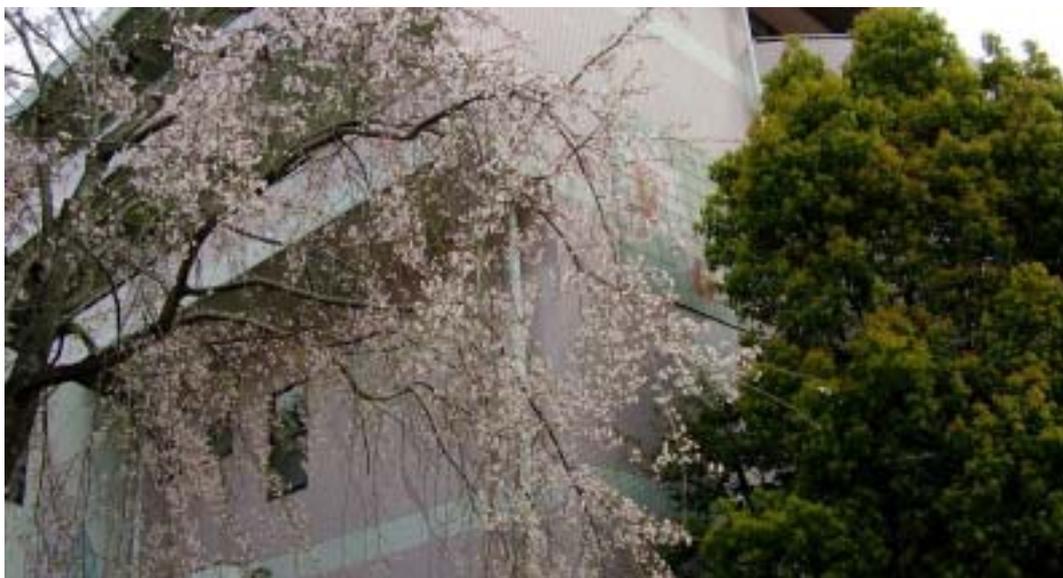


新年度です。病院玄関周辺の染井吉野の桜もすでに散り始め、花粉の種類が早くも変わるなど春がいつもより早く過ぎて行くように思います。実際、例年5月の連休前まで続く杉花粉が今年は意外に早く収束し、檜花粉が早めに流行っているようです。しかし考えるに、年中色々な花粉が飛んでいるので、花粉症の方々は呉々もご用心下さい(c. f. 例年の九州地域の植物花粉の飛散時期)。

植物名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
ハンノギ												
スギ												
ヒノキ												
シラカンバ												
イネ科												
ブタクサ												
ヨモギ												
カナムグラ												

久々に夜桜観賞の宴に行きたいと思っておりましたが、このところ週末の夕方は肌寒い日が多く、今年行き帰りの車窓から、あるいは病院の会議室の窓から眺めるだけに終わってしまいそうです。併設の介護老人保健施設カトレアの壁面のピンク色に同化するかの如く、ちょうど今満開で美しく咲いている枝垂れ桜の木は一見の価値ありです（今朝、朝礼直後に撮った写真です）。



一方、立体駐車場入り口の両側にある一対の桜の木は、車の出入りのポール開閉の邪魔になるのか、いつの間にか太い枝が切られてしまいましたが、今年もちゃんと綺麗な花を咲かせています。昔から、「桜切るバカ、梅切らぬバカ」と言いますが、これって本当なのでしょうか？「桜は切り口から腐りやすいので剪定は避けた方が無難で、梅は切り口の回復が早く強い木なので、樹形を作るためには太い枝を切っても大丈夫で、むしろ剪定は欠かせない」といった意味ですが、医学やリハビリ同様、樹木の診断治療の世界も進歩しているのでしょうか、、、切り口に特殊な抗菌性のクスリが塗布してあるのかも知れません。

次頁に先週の入社式のお話を掲載しました、今月も頑張って参りましょう。

